冉招請の拒絶回答

奏御裁可を仰

[上海十一日同盟] 十一日早期青 蘇州河突以

> 放妖の敵を追撃中である。吳海草 河を突破し更に止まる所を知らず

我他爆撃の正確さ(帰職)

三十倍萬の済難民の生命を完全に保つたことは真に驚嘆の外はしてない

浦より長陽二十キロを一無に前進

を與へてをり、その快速振りは真

突入し廊に多大の青城一巻。和知、機間南部隊は形船

ひは夜に入ると共に益々激烈となり敵は各所に火を放つた爲火は炎々燃え上り、その中を逃げ遅れた敗殘兵が右押し包みつゝあり、十一日夕刻までには南市の名園半凇園を始めとし南市水道會社、四朋公所等を確保した、戰【南市にて十一日同盟特派員】川並、匹森南部除は猛火と敵彈をくぐり地形複雑な街路を縫うて漸次域内の一角を

**終敵の掃蕩にかゝつてゐる。城內主要建物は到る所日章族が朝靄の中に翩翻として飜つ** 上海十二日同盟]南市城内を完全に占據した川並、鷹森南部隊は狹隘なる街路に沿うて

南市の強敵佛租界に遁入一【上海十二日同盟至急報】鹹滅的損害を受け氣息奄々となった南市の残 昨夜來自ら武裝解除を願出でフランス租界に遁入するもの續出、今未明迄にフランス租界で武裝解除され

上海十二日同盟至急報】十二日午前三時頃川並、

鷹森兩部隊はフ

ンス租界に遁入せる敵を追ひ南市城内に突入、城内を完全に占

上海十二日同盟至急報】本早曉我軍は南市城内を占據した

早や京滬線の要地南翔の陷落は時間の問題となつて來た

碎し更に前進して陳家宅、李家村を確保、かくて進撃また進撃、追撃の手を弛めす 丁家巷を奪取し、又淺間部隊は敵が最後の陣地として死守する水車路、姚灣各線 知、坂口、常岡各部隊は十二日午前五時三十分南翔驛より一齊に南

上海十二日同盟至急報】十二日午前五時卅分南翔は途に陷落した 南翔南方にて十二日同盟特派員至急報】徹宵攻撃を續けてゐた和

日草旗へん。ほんと飜る

江橋鎭十一日同盟] 朝に一城夕に一郭と只管敗退の敵を 猛追撃中の我が各第一線部隊

市街に突入、之を完全に占據し城頭高く日章旗を掲げた

漸次南翔に肉薄しつゝあり、和知部隊の前線は十一日夕刻既に南翔の前面王家所、

在營延期說

掃蕩に努む

かもこの日午前四時初めて浦原 上限した計田部隊は敗残長を

ら揺撃を加へ、また西方からは 岸に到潜、南市に向つて東方か

た個長部隊が捕賊から猛撃を開

の疑問就認は迫つてある。更に

上海戦線 完全に終の賦と

"方法院等を占証、安田空戦隊

別様さ行かにしても今

子一旦

直ちに除共臨定に参加する意思は

伯內閣總辭職

ルガス大統領のクーデター・ジャネイロ十一日间

も同日午後三時学職事隊と協力 神、また生の戦に進む安津の後

説明江上の軍艦の鑑及び協定 側の建物に立て加って既来離の

植田防御、下元庶廟が茲に入坡

命して十日公布した新憲法の延日

解論に近く新内閣を任 の立法、行政権に全に

人統領の意思する所と

手當、然も手輕に、殺菌消毒から

りも病芯の在所にグツト浸み込

フラジル

各方面から極めて許日 歴政一新を殴行するが

初の「組合國家」質現

新政

**南翔は軍事交通の要衝** 

石家莊十二日同盟王急報」坂西部隊は十一日午後七時砲兵部隊の掩護下に大名縣城に突入、

. 石家莊十二日同盟特派員.] 舊魏縣に據る敵約二ヶ師を攀破し破竹の勢ひで東方に殺到した我が○○部隊は,十一 午後七時十分遂に坂西部隊は砲撃によつて作られた突撃路により大名縣城西北角より突入し遂に之を占領した午後二時頃から砲兵部隊の猛烈なる掩護射撃の下に大名附近一帯に陣地を構築せる敵を攻撃しつゝあつたが、

## 判郭鎭を占領す

来たが遂に之を戦退 十一日午 「独飛た攻撃を加へつ、あつ「親多数を近撃して東方に指定した」は日本歌いて居るので、これの四方七キョ)の職「果教な密境により死後、武器、澤」第の土製政策を次の如く報道し、

B隊は八日本京漢線監御展方 | 大軍で、我が○○他見部隊の勇猛 | 力軍事取門家達の観測として支那

原田派遣員

題】ブラジル大統領ヴアルガス氏

大統領令を以てコーヒ

引下げ、主要な産物館

の際止などを賦行する

殺菌消毒

で冷え帯 下を治す

新政策を實行

谀 明した 等の指指をも考慮して

なども自ら振頭に敗見する旅日ボ るを以て、職業人の對日感情も 海は完全に我が軍の手に陥した 作附近の戦況は城に進展し今日

○國らしき高角砲の 縦は早くもその抱象する新 と云はれる 藤布して独悲権を確立した 田俊裕統制 射撃を受

威海衛上空に於いて

我海の荒鷲部隊無事

城府之尹 摊 重 植 雅仁郡守 補 丙 金祖和守 强 水

本の立場を表明

地立黄

つきては従来帰嗣し来

型的に迅調さるよもの 後者につきてはこれよ

一大韓戦を解へらなっ

を中心に次のような一門一答を試

敗といふ報もある。本 は水知能り成らず。解 で、卅萬の大軍を添し で、その時が蘇州皇山 張るべし



や急補申込みの

の整備に製品なく、共産大統領は蒸留分は「新組 潜は一層その回答を瞬間した所ヴァルガス大 外務省を訪問、防共戦 にれる、何れにせよび エルスプル氏及イタ

畫は逆上 眩暈、 夜は冷え込み

内服薬ご云ひ度い所ですがそれ とれぬ 要消後さ

第一位 司法 編 迄 申分ない治療が家庭で出來な ADヴィタミン女性ホルモンな 有名病院婦人科使用の婦人割

病の閉屋から希望の姙娠へ

山脇しな手 (前略) 小

ソ十二日間盟 プラジ

考慮せず

**当 ヴァルガス大統領の預基確立** 

するのではないかとの説が行は

於いて、アメリカ政府はプラジル

官は十一日新聞記者贈との食見に

むか、アメリカ風格式 んな態度に出るかは主 ショ化に對してアメリ

た要が、此 ふ破天荒の立

政え下さいました上役の意味です。 ひに返まれる は、海際され に就きましい

内と成語し度いの

に結へる様になった説びを御路し下さいませの んでも感じがありません。 (略) 御票で道っよくなり近の一つも経底的既能無気をと文句面り網の問題でした。 斯うなつてはいくら薬を存 る鍵ギリー(輸み概までひょくのが毎日積ぎ、冷えて夜も盛られず頭 (中略) こしけに時々血が変り魚の腸の腐った悪臭かし、月經にあっ たりなかつたりあれば五六日も床につく苦るしみの上に喉は息の止ま

その九分は淑淑惶のものであるが、父共自衛下冷ひ陰を漏へる患者が一番多く 下が施え艦みが増したと眠へて來る、多の九分の患者は不良な態要を使つて自閉 職態内の殺骸消炎消骸を手蹴よく行うに年患者を治療した無験から云ふと、子官

出で果く汚れて痛れる心配は少しもない。 はせる成態も既るよく、微寒の寒に流れ にせる成態も既るよう、微寒の寒に流れ のはなかつたのですが、フセトン球は栗 が最もよいが、さて斯様なまとまつ

醫學棋士

木

内服薬で芯迄屆かぬ重症でも 村仁

所の漏れる物や、幾日も中に入れ 態りくどく面倒な内服薬より直接 | 球は内部で八分でとけ渡は残らず で資が残り流れ出て落物を汚し局 の局所悪を使い方が増えたのは大 おく座乗は却て下り物が備える ジェルですか、間めた黒い葉で中 A、強い機能が限力ウイタミン 一日一回でよい新發明療法 ほぐして内院院の職み下腕の娶りD等で別れ別れを取り引吊る前や をとり自然下を止め、手術の確な 流れ田子に悪に金郎腹深く湛み込

し事しいを原子編特の治療が人 れず家庭で出来、しかも病院で入

人科で御使用の選歩的可能性端でに帯大病院を報頭に全國大病院婦 しです、重慶明画でセトノ球は現り女性ホルモンで子宮の宿梨をいので斯様な勇なら内駐車の方がま」なく簡単に人知れず見い時単を取 **絶對追脳の田來ぬ美しい南珀色の一れて戴くのと効めは變りません。** 

ります。 品切れの時代代用者があかなく、ガキで 何日分流行。 田大日分(三四四十分)で過時は今十五時、特路でも使用の(首田大日分(三四四十分)で過時は今十五時、特路でも使用の(首田大田)との時代が大けって「根の便利を行ります。 無代通量 ─ 識むだけでも有益です無代通量 ─ 識むだけでも有益です無視代理店へ即出しになれば、代刊でご無益ります。

の新生理學)と云ふじっになる主も左記へ毎申込みによれず特に節人病治療の根本を到り易く勢いた際學問士不同仁先生著(女 西通河町十三

近代理店 會緒 河 原 商

專門人婦科茶 派人にも簡単に

市へ向つて進撃の皇軍部隊

と正義日本の立場を表明して深い。軍事的に膨脹するぞうな行動に出

氏(元代議士)士)百

重大性と東亜語織の重大性の意と大本常設置の模構、時局

能は依然として續けられてゐる

電力調査委員會

**米京電話】 四時地力調売會が** 

松井軍司令官きのふ

感銘を與ふ

かしたい

上れば質局はこれに對し批酌を 問語ったとの報道を相當重視して

郡守異動發令

物域なり、最重慮埋然

たる料学などありたり

算き心がま

改岸准尉夫人初枝さんが

(大阪府) 上等長岡川 滑下鈴木部隊 一等兵税村小

奇しくも敬老愛幼日に

**玉部隊長 ^ 贈**つた**血涙記** 

總督、

あす

盛して十三日の報恩或謝國民親和日を開全鮮一齊に聚行され歌義ある結果を陳民務神作展週間は安も七日から一週

**唐津田久鸡惠外七十二名、**丽貝

全國に放送

上】龍山官邸の長壽者招待慰安會―

助けられて會場に向ふ九十三翁國金根さん

の總督「下」總監夫

老人の口にあった内

到れり盡せりのお持てなしに

**総者二百名を招いて心から老人途を慰めた、この陽骨主** 

愛らしい逆戦やお話があって高線。「す」と老の限に減を遅かべてる

南總督の高齢者招待

音の少年の物語

坂井耳鼻咽喉科

いたはりながら贈って行くの美は 一数が總督の限に入つたからだ

この招供合に本年度の最高職業

氣で不容

して遊々発育の確定であった百

成目『萬病の因

各梁店にあり四十銭・一區

風邪熱には……す

皺をのばして大恭悅

短の店上で李王融雅線部の朝鮮 | 第場トッと來たが總督も限に突さ

に依首まで高れぬ老人たちの頭に つれて知ひ始めた、餘りの嫁しさ

が始まると招かれた高齢者の一へ浮かべての感びやりだった

**九年勤續の榮え** 百七十餘名に功績章を授與

鐵道局で睛の表彰式

ふ所大なり (中略) 更に只今二

總督官成に開かれた敬老会の題一中から十人はかりが立上つて樂に

つの朗景

商品消える



切々、初枝さんの手紙



で金部隊付の貴雄島がある、その壯烈なる武蔵振りは本紙既報の如くであ 【宮田本社北支特派員蔵】去る十月廿日、正太線井徳昭近の謝戦で殊職を

を破したが、十二日寺内大将そ 理官を初め第一級各部隊長に出 南總督へ答電

のほまれ

の家族と分数場小學校兒童、鑛山攀務所の全職員は土砂鎌夫長屋は火災を起し目下延爍中で硫 宮が春瓦斯とはま夫長屋は火災を起し目下延爍中で硫 宮が春瓦斯とは「三年紫がほり十1日は明れたがこの日は風景之美国

て一服の休憩時間を異へるかのや

演主江靜川夏•代春川市。傳方日大

演助 刃 口 山·梭 干 林·子 合 百 英

供提盡跌價東•作時超聲邊京東

江づし岸山・門衛右版村中・郎十長崎 原河

品作挑提要柬 座渔前 演主代直縣山

7

封切

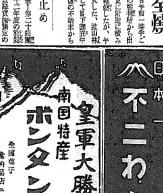
援 房 完 備

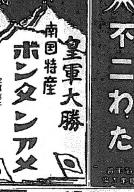
/煙 三十錢 五十錢

岩街

劇

一神木 とし、その構故に一「工権定する事になったが、 「ないない」の構成に一「工権定する事になったが、 江華島で發見さる 銀杏白松、柳、緑が占め 海蛟つひに歸順 ろ平南防急機節根の製材所からn 【平與記話】十二日午前一時半 - における昭和十二年度の部 製材所全境







過勞者の必携職!













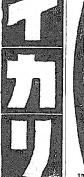


+



皇國臣民體操















院隨意)

玉古 玉八〇番蔵

(月刊カタロク進量) 

普校生の赤心

周を感避させてある、 同面九耳

北支〇〇部隊山口政男氏から同

も突破した、前年同日に比し六十年に一百三十萬様を四千四百十四時

【成果】十日途に成南の恒漁獲済

伽耶琴では全鮮

大邱の府史を飾る

ガス工場火入式

4~~來る廿九日を期し

|英國を突破し、なに頼々申込みが | も四十国倫り集まつたので指軍分

水遠の火=點火さる

あるが最近大田署その他で扱った | 倉を速じ直に散納の手續きをとつ

こっにも献金

た関境者間後「平北著祭奠」を換した、知承整明者並に生活改善・メント及び生活改善・則を消撃し、敵と効果を臭へ午後三時無事落時

した、知事整明否並に生活改善十

安州」さきに本社を通じて安州

らお禮狀 兵隊さんか

美座知事の聲明ご生活改善十則

警備機から撒

見頭から第一級に活躍する星

下に食員二十五名か午前五時から では去る四日食長中野文氏指揮の

これが終つてから逝に果方を

の四人暮しの自作歴であるが戸主

盲人の赤誠

を耳にし急軍の海に陸に生に戻り

いんは関節炎のため道立器院に入 機氏が應召後間もなく妻女コウ

ての(のこと)を開いた、開要那一連れて色事動所に佐瀬邑旻を訪問した。

名(内女一名)か杖にすかり打ち 【安州】四日午前十一時頃官人七

の時とはかり衝起し假令身は盲目 たまし、平南鎌敷納の騰起るやこましい活躍に感謝してゐたところ

でも報風の赤靴は他に劣るもので

赤心の稻扱き

不幸な勇士の家族を救ふ

農振青年會の美墨

U忍苦日に大田税称署では池田署。 被將作異選問第四日(十日)の克

廿五名辨當持参で

# 長距離馬橇登場

新義州中江鎭間をリレー式に繋ぐ

軍人に化け

**山百餘名を相手に** 

## 石二鳥の計畫具體化す

いんとしてるるがしかもこのとう。の杜組から上述器極端並に一般生一部消滅鎮すでの輸送に成功してる。常意推動は今半全く多膨機態に入「此としては微來語水野の約査輸送。ので食肚側としては既に昨年衰月の需要肺を語き上波地方への粉査「整鉄池で検訪中のものであるが食」設けリレー式に輸送せんとするも)

宗の江上に登場するアリテレ名。 活に及ばす脚なからぬ不自然と不見だとしてあるがしかもこのとき。 の柱絶から上述器熱視並に一続生

下海蝦弁のよつてゐる九寧浦ま下海蝦弁のよつてゐる九寧浦ま

酸の連線船金順丸へ多数の旅客□の内地密航==十日午後十一時半

【釜山】願召軍人と自轄する新五 財產返還訴訟

被告の取調べ一段落を告げ

娘子闘で戰死

面民の赤誠 会長して面内三十四部落に「民事部に總督その他五百餘氏を相 最後に高導法院で無罪の判決を

釜山の詐欺

制計で修設式を執行し直に發送ー

強くも正しき

銃後の足並

國民精神作與週間

各地の頼しい行事

哀れ親子諸共重傷

【光州】全南高夷和道黔面縣岩里一ておいたところ、突然大音響と共 目起責廿箇爆發し

の山に振気散いた孤瀬用の自起設一大脈部に設備を負ひ之がため臨丸 庭制金が高い。は数目前から附近一に自然爆發して金が高い。は陰部

めこれを放便すべく十日午後一時、傷を負ったが金城吉は生命危害で れず自想版が雨で濡れてゐたと

松前極事は 被告大島芳輔 に 事件求刑

あつて正年すぎ閉延、劉決討議し

打行列に感激と興奮の一夜を過せ

は九日管内取制模査を施行、非常【蛇域】羅留養奈客戦域駐在所で

尊い勞働奉仕

成果 太原完全占領の聖徳提 行事を實施した

落穗拾つて献金

一栖)を厳語すべく七日新雑州憲兵「ごろ自宅の温突に約二十個を入れ」ある

萬瓩 ( ) 棚内(Oトンづよ二百五十 就は散萬随を刈り取り取改へず一

【新養州】平北秦川郡民之軍馬用

健三百五十名は政師郷金鱵氏の指 郷によって一、二、三年生徒は素

尹の名で三國院非協定成立觀覚の【仁川】去る九日府民代表永井府 日である。午前十時成製師赴大前 | に好成就性に終了したが各車主の

週間に世少の奉公をとばかり各自 申合せにより時局構特に精弾作具

し一般に非常な魔蛛を具へた

電報を東京駐布伊太利大便に盛し

たが周大使から十日左の通り附加

の意を表す政府の御禁弊を結る。間中は三萬邑民を約員して各々の御熱放なる貴範隊所せて勝配。作興恵田を本年は昇に盟盟して長

米格差決定

【全州】湖南第一を散る朝鮮料理」女の選集な欲求には人間的に同情 の演奏館に美人ではないが、すべきものがあると作べられる 自由廢業の計畫か 他一般市民は十三日午前九時から色内官公園及び各種園野職員その 永同の献教祭「※同」 市事務は韓南部においては米倉支

那等では全鮮一と稼むられ、十

からそれと、戦戦祭を執行し戦戦のあるの落でも同日午前十一時

十八萬圓を突破

愛國機咸南號基金

に達した、なほ咸篤府一千二百六

一巻しき 負けつづけ

•

のんで

勝ちつづけ

五十萬道民赤柱の飲金は整に十八十百四十一本に建したほか現金も

もので、この日のマッチー本は永 はガス事業の開業式をかれて行ふ

愛國忠南號

街頭で募集

献金相つぐ

地震も九分通り了つたので、いよ

名譽の戦死

一巻モドル

三癸寿李株式参社 三癸毒提排式参社

然に戦死をとげた旨某所に入地直進少尉以下左の十名の騎兵は

完成したので十二日午後一時大田。 もつて愛國婦人会大田支部及び府

防弾チョツキ













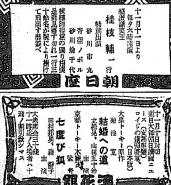


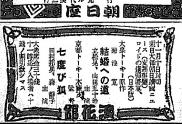
I dool 順日四一で全日四十一り上日一十 由主大数件・卵二段件 **寺能本駅**を版新 パ <sub>说主夫敏林</sub>• 斯二段林 **守能本嬰夜版新** 報特スーユニ界世日朝 ,2 和サイトニー・テレビロが 月主衆習笠・子別時川、よ女なく泣・3 銀十生學小は十二年衆大の 研究の栄養が終る 新記の栄養が終る 新記の栄養が終る 

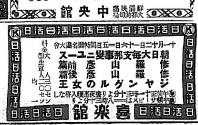
場副城京 キゲカワ 回野型















製脚映上 りょ日八ん やち 説るスーユ んスチ 7,47 3,10 11,00 花二十 選 形 7,56 3,20 11,08 3,02 4,28 12,15 ス — ユ 1,19 4,48 12,33 ンモロリグン 4 

海軍爆擊隊

十三世紀美漢作 (獨及 別される原実事 日活多摩川

戦士の道

中間に十一年の中の中国の側面であってものできた。間のなどでも表現が開発しているので、国際のは、本体のので、国際のは、本体ののできた。そのできた。このできた。このできた。

の十回日からしのはならはメット とうとのおうのをいてといれたの りなかいのうさす 長する。建筑夫人の女変最近成立十九日で自然政策の攻合に数 納維作実費度 GiO 這水亮 到此克食4六年二月分眾宣 大品歌戲劇 (大) 大臣宝牌





素晴らしい出水袋え

柳ि會餘技展



に型つてから数量を走つ北に同け

大変の在の都海波は、大きくた

が遊つた。江南の空をグソートに寄

一会り添つて、二地獲録で既

の一種が簡を打つている うに選択って、その上には

徒

の歌味が知られいか、続き

の気後りたが、年した南の宮

東京(15)。原知学学士・中央を教教 20時間近の接近を利用下町 が、山坡是から山頂地で、山頂西府

受

H

山

2

近に行く手に大場子だが際の 響にでいって見ると、を子に

現るあったらうし、あれ他是死も あったらる。小統の一般抗酸でつ の時とはトンを進むた。たが外し とて行くのだる。蛇の歌地には布服一だが兵撃らしいものは一つも見え (こいつあ、ソウトラのスリルモ 2日かと、飛びなからアンマーつて、下を指した。その方向を見 気給うがしたいのダグラス からのカーキー他の土地にカーキ か何ぞのかうに実まってある。こ 一部ではいらいかっかい 地がらの射撃だらうか?何度だか がるがつてあるのは味方の街長戦下のはうにベッベッと、白い程 ない製なのだが、伊し今日のはそ

江学品が進むる医療の変

十四人乗りで上海に諸国の発行名一堂で数へてくれた。頭の上や、

から可見さて突つて行ったことが

あしまた当年の著さはメグラスの 連りみつて見せて取ったことがあ たが重性を言う言うの数様 めに弦ヶ浦で、これは練習者だつ

と、核山兵をおっての根い体を

一この下にあるのが大法位です。」

医の下の速々たる道路に沿って

して機の屋下全接した いて見たっすると兵事に首を延け 一大海線はどれでするこ

てくれた。その無電台目掛けて、

兵費が行く手の方を指して数へ

しょうと思つてやつてきた、その

「味方のですか、酸のですか?」 っくと走つて行う 受重が一変……二姿……三さ、 「いままま九戸です。」

気のひひ」といふ小院を季

一時にすればよがったと思った

地面に重いてあるのがトテもヘッ 必要があるわいと思つてゐると

ミて むる家だか 前落たかがあった」をつけ、十九世紀から今世紀の初

るないお家では、どうすればいとだけ逃ですわ みたいと、祖父のまも理母がよる

は町壁がられるし、ちゃ、わた

特社本

での家族三人の命給

んだよってまり、目上の人を敬ふ

を意味にもたるのだから。

金

夕間の食或を聞え、十になる老人に限らなくてもい。

『歓ぎといつても、何も六十十七

聖老愛幼

派

「年者をいたはつて、小さい子供 fireうだっでは、敬悪愛幼といふ は どういふことかだし

まあ、さうだね

突然、毎親に奏職があったり

被害といばれるのは淋しいが、

長院學烹割ルビ堂阪大・共種三龍下

お年が上なんですから、あたし、

お家の中では、お父かまが一番

かったと変して、

答便をとつてある方に、いつし

大場鎮網攻擊

際に感を前にして(おうなかつた

下にして)値数に行くやつに可頼

飲のむらは十の地匠へ来てあるの

もう会店重の大部

豊かキツベリとはへた

一味方のです。」

う大場戦とりも先言へ準へである これは驚いた。味力の設策はす

るとだるほど見られて見るわられ、最近道り使れの進退は敬頼原度打 (東頭)何並なれば彼の回の歴史が一の打算は一番く成功とは、云へな には赤い塩をメラメラと上げて鬼一大芸蔵はもう客ちたのかしら? 『時局に對する -(九日ラデオ放送)李 吾人の覺悟」三

堂のらしい宣馬が砂形にたかる続。等にまてものでありまして、それ 失敗をしたことがないのでありま ます。しかして近世に於ては、彼一丁攻略は干渉をいって大いに味噌 が彼の既聚の有つ性感でのであり までも、西東に改伝を来たす場

携帯の一京首、水管その他を自古村学 本紙選抜他へ会費略無込下さい 一名会 | 関五十銭(、ス 表三貫) 支へ能はずして上海の敵軍が遺 理此の上は監察特久。各目特撮 が常であります、真実の伝導 いって主義範囲にと動まればなり そんの人間は表現に対して

緊張少様つことが出来なくなるの でありますの人心が現在の緊張か まいか、飲りに愉快になったかの うなへる方が愉快でありますが、 したと聞くと帝東政府がこれで しれは成むべきことではあります 独けるであらうと称へます。 れるでの急軍の戦闘に殴って ~頭を下げないと云ふ見方かり

が特にそのお 御紹介しましたか 慣れ高いことは云 ら ぜひお宅で 相應しいお料理を を應用した季節に 盛んに用ひられて しさは きつと御 が 特にそのおい 來たお料理が荣養 試みて下さい あます 茲にこれ も料理の専門家に 無ンイワトーポ玉赤・付皮造の栗 ●

少量で大變おい で 調味料として 良葡萄酒は また ゐますが この優 は滋強飲料として 赤玉ポートワイン い味をつけますの お料理に用ひると 一般に用ひられ

き燒板杉の茸松と鮭● に握り、松葉を三本散し、夜し汁をにし、十分位にて取り出し、皿杉板で挟んで天下下火にて渡し路 一度報立て、これを掛けて追め

. . .

き嬉ンイワトー本玉赤の肉鶏と茸松 🚳 赤玉中

京書いた串(長さ 中五五九九 七五五九九 七十十 一十十 一十十 各六本宛

大の部分を切って切とし、名であれる位ので切とし、名であれる位ので切とし、名の部分を切っていません。

材料と分量(六人前)



切られてゐるから、唐葉を活かし ららか、何に致せ村上新左衛門を

に馬鹿になるもの、一旦捨てい拾

水田ない

ヤイヤ是は老の愚痴、お悩あるね 背只機念なは、此の世で全一度に での事を言葉短かに物語り、 の捨てた子供に通へざるかい

語 (十二四) 元。(1年1年1年)

11-25 13-20 13-20 13-20 13-20 13-20 13-20

は、清華の俗角太郎に殺戮された

清策を耐たしたら丁度宜い事にな のであるから新左衛門の作大助に あらうかといふと、村上新左衛門

相互

宜い芸へだと思ら相談が極まって を討つのであるから、鷹鹿ぶたら るだらう、大助も親の敵の隣くれ

といる者があつたので、其れは

学速大助に此の事を申聞けると、

大「イエ私は角太郎が親の敵と思

たstは、作綱五郎は兄角太郎とは 遠ひ、柔しお心の者はゑ何卒養所 かるな、只一芸御身にお願ひ申し 下らぬ事を申しました、お実ひ下 言葉に絆されて、ツイウカーへと

(第0款と思へはとて、兩人を観み は、清章と云ひ、模力がと言ひ、 模力がと言ひ、模力がと言ひ、 模力がと言ひ、 様の弟とも思召して若し以後養り は、清章と云ひ、模力がと言い、 様の弟とも思召して若し以後養り は、清章と云ひ、 様の弟とも思召して若し以後養り 大「イヤ其の基は安保致され上」。奴をお削ちたされて下さいまじ』

いふ何せなら惑んでお受けを致しとは思ひません、角太郎を斬れと

一龍齋貞丈演

(22)

木便茂彌高 鑑を聞き安井清報を其れへ引出

生みの親を斬る

か何か少し弱い材料に何安くなるかは疑問

の人に収容かれ、住員にとらり目「エスリンニ」とせん、大助賞の出来館は銀三年が三十一計らへと言葉して、整く二十二名「陶瓷になりに渡しません、大助賞が二十八歳一月を持ち、こんだ事を設備領資券にある。 小工機会に過ぎないも gustFBの高 限を立つ席に相談りました。時に |大「コンヤ安井四郎海策といふは会立书で正来に書目の高 限を立つ席に相談りました。時に |大「コンヤ安井四郎海策といふはまし」 アブジュ 単語 神道 かんじょうしょうしょう 的の現象 相談と、後々の事を見るからに 相談して、後々の事を定さ中らに、たんて、こんな事を破機御自身に対って異なば職番兒処界助力夫殴と、鋭へて厚み、如何にお怒りになつ、ソコで妄弄四郎清晰は、要の博士した、御義朝には耳周庁代数名 目松下役の服部等十郎が、梅役今一其方か、此方は首打ち役村上報本

品が一時押しかけたも、ながら表方は那人であるから、郷 ゼヤリや鬼頭の歌山方面から、客「珍伽は家郷、法は法、氣の歌、併し何が「墨五毛志勝力は11」 を掛けなければならんが、此の小 併し何か申し置く事があるかどう 期手を謎に安非清朝、頭を上げ 第四件大助表録た。<br />
発悟は<br />
宜いかり

を流して繋びました、其の土地だ。左衛門段はお氣の程ではあるが、 田原の城下を斃れるまでは許してして、シゲーへと大助の都を眺め、 と云はれた時に、清景は實に漢一上新左衛門段御子見と左。ア、新 清「何か呼びますれば、登所は村

道はす

けは概を担けなかつたといふのは、またく、指者から見れば宜き個子 ソコで又一般途中で治つて、翌一て私の命を締める作もある。ア 財たれる作もあれば、悪事を動い 息を持たれて御仕合せ、親の敵を

**兼を召加つて來た事を曖昧へ申上一段に是といふ申し配く亦たどはご** 日江戸表大川端の屋敷へ來て、清一世は様々の物でございますな、

川正米市況

質に滞生の家来には花も買もある

武士が多くあつたと見るます。



であいい夏に歳分をしたものであ」の間に由来た子供は育たねといふ、があったので重視が築まって、現一変の権野が三十三歳、原年と近年 行っと、寛きに計らへといふ御意一ざいませるが、私が平四十二歳の 事を開か、観といふ者は子供の賞

れではどういふ飛に蠢したもので て而くは氦示の宗理に相成る。其一つて動へは育つとかいふ事は系是

つた子供の迷った事から、今日ま と希臘清屋の六兵衛に拾つて費

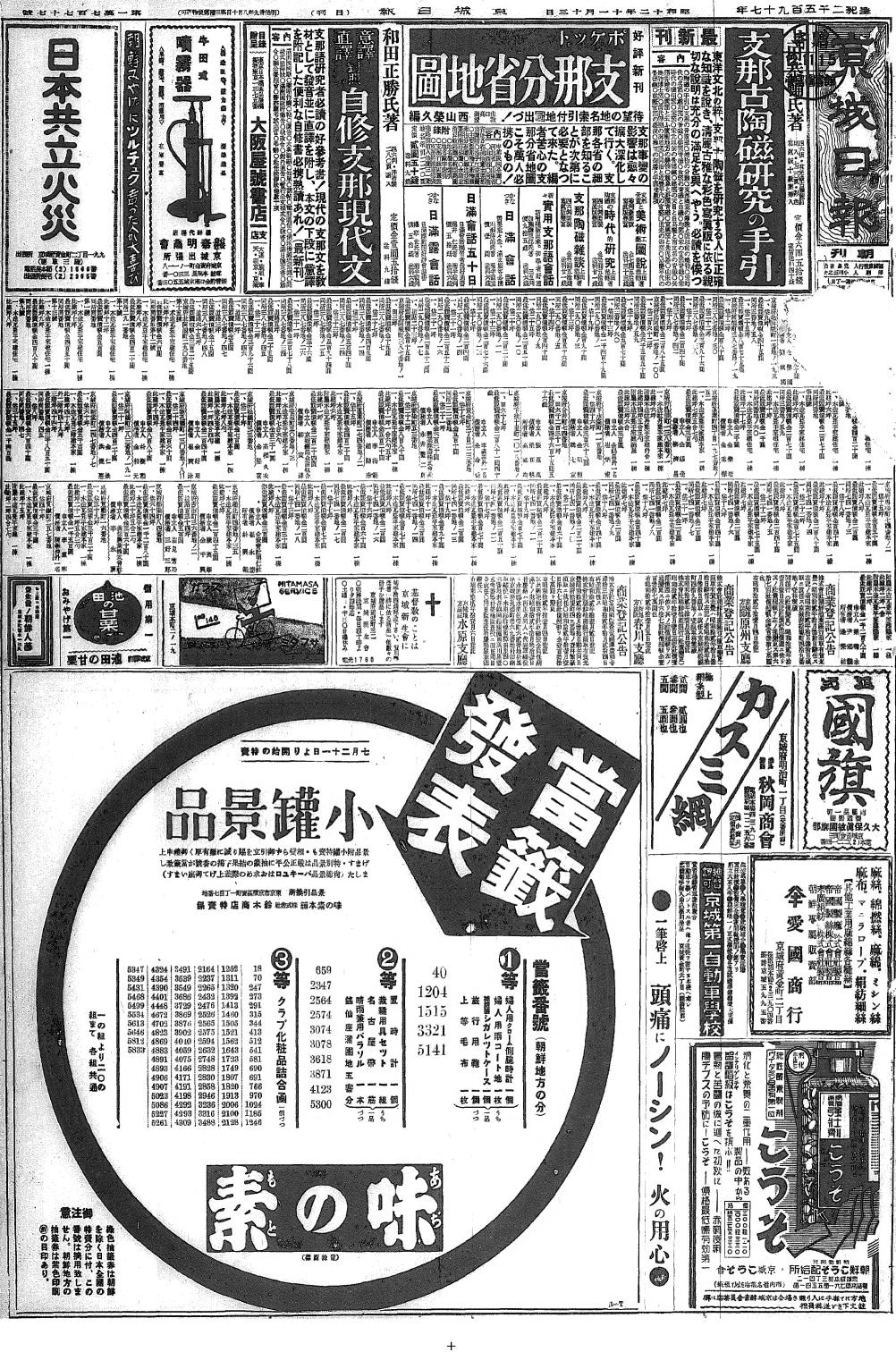
いか何せならびんでお受ける事し、格「サテ大切院とやら、少しも事ます。手能から取つても出ますが、格「サテ大切院とやら、少しも事ます。手能からなどでは、「大口心得ました」

(十二日) (十二日)

と後へ贈つた大助が、心を地に

と申しましたが、殿の命である。

東印教しました。ソッで感覚へ登 を水も間らず打ち落しました。 吾母だと云はれたので、様ろなく 取直しヤッと一郎・安井清教の首



るものに對する實費辨償に關し通常裁判所に出訴し得る規定及び

嘉定、太倉、崑山に向け

筌法第十三條第□負、土地家屋物件につき収用の場合の補償に關【東京電話】十二日の閣議で防空法朝鮮施行令を決定したが右は防. し通常裁判所に出訴し得る規定、第十四條第二項特殊機能を育す

日に公布實施

防空委員會令も閣議で决定

#### 北支内蒙の陸軍将兵に **慢渥なる勅語を賜る**

昭を解はった【十二日午後七時半陸軍省獎表】 【東京電話】北支内器方面に作戦中の陸軍特長に對して左の動 時軍將兵に對して十二日午前十一時参議課長官級下を召され 天皇陛下におかせられましては北支及び内閣方面に作職中の

ン以テ 脱ノ信備ニ副へムコトリ細セヨ

相界の抗日機關に 夏賀橋鎭占領 即時解散を命ず

を破行正午過ぎに即山東南方の夏賀橋戦を占領した 【上海十二日同盟】安攻城を出遷した新城上陸〇〇部隊は今朝更に北進 な抵抗をついけて來た一部發散は川並部隊を海軍砲艦及び陸戦隊の狹撃をうけ金滅午後四 南市を全く上領 限建物内に帥取り孤立のまと今朝來頑强 上海十二日間 | 南市十六錦南礪頭の税

進に粉碎されたものと見られる。 事更に捕児院備に省り部下ので

豆瓣奥

州である それ等を占領すれば、次ぎに飲

送に大上海を全く日本に占領さ れて、支那軍のあんまり敗け根

してゐる |金英樹||と共に解析質及覚謝圧は我|| 収すればその利用領部は極めて大|| 方は目下この月並健除工作をはじ|| 上海十二日同盟|| 上海戦児の完|| キョの跡上を唐下してゐたのに比|| 市共に我輩の案中に闘したので我 货浦江水運 わが手に歸る

即化されるものと期待されてゐる。他既に上り和県内の空氣は相當明 ことを恐れたものであるが、この

張旅長戦死か 邦人街砲撃の

をたられ周環狼狽、算を難して北 朝鮮〇〇部隊のために山への近時 の抵抗を履けてるたものである 御鬼が返後南市に遊入して歌末な 日地脈を砲撃せしめた元処である 「上海十二日同盟」敗姫の敵は我 を指揮して邦人非難開以居住の虹 死體三千

めてゐたれて五師程兵派是野部は一種で埋めつくされ恰も中央軍の窓 終攻撃に際し建陸を指揮抵抗せし一帯武の道路及びその附近は厳の死 方不明となった。多分我軍の職一場の感を呈し、その数は三子に建一 上郷十二日间世一十一日の南市一方に退却中であるが、南郷、風山 萬餘を屠る

中恋定、太倉、以山を中心とす あがきをしてゐるに過ぎない る一僧の地域によって、最後の ひをもつて虫軍に迫撃され、今

上版戦争の支那軍は、時代の撃

りがよいのにいらたつた部介石

昔の有機はないが、糖糖物や、

工職品等で有名である

上腹王勾腹の決概様

は、具下統州まで出張って「道 やうだが、その影別さへやかて めく」とかけ繁だけしてゐる 揮の本部が整かれてあるといは は息軍の前に降伏せんとしてる 今の上海戦兢の交渉軍總措

例の姑酢或外敷山寺の『月塔ち地である、古名を姑酢といって

四個に奥王の築いた城壁をめぐ るるが、また現代ともいふ

らし、人口は三十萬位(實数不

**蘇州、寒山寺、吳王、越王** 十二萬坪からの祖界があるが、 美人の虚地でもある、概と新とないって物語が多く、また風光も美しいればが多く、また風光も美しい

か、今は邪風支那軍が、か笑顔を扱つてゐたもの

界

配利當益

J.

大特長

ひべき保険料總額契約滿期迄に排込

とつめかけてゐる事で

0

群州は上海から八十五キロ南京

れる解州とはどんな起か

掲子江、上海をつなく交通の要 業を上海にとられ、省級を南京 じめた町であるが、近代は、商 昔、吳の都になってから敬えは

點で、また週刊を以て例地帯と をつなぐ京景総道に沿ひ、遠杭

南郷世の常典から來た郷世の終

見山は、米の集散地、破外には何い主席の第一様となってゐる

疑山といふかさい山がある

讆

長短機通りにも二

保険料排込期間を が割安であります

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

| 本杭州側方面に上陸して東に土壁| 2000とのようには御り着となり非常に原利となる戯である。 これが間違のあかつきには使用されること、なれば変更が終。 状が日海岸船が大大統領地での他船地を北 実修造船域によ院に退航日本るとはかの東洋船舎に除めて重要た後割。 なるものあり、支那側は市場発生 や一周日中に完全期連する見込で軍の承洋船舎に除めて重要た後割。 なるものあり、支那側は市場発生 や一周日中に完全期連する見込で軍の承洋船舎に除めて重要た後割。

翼

又は近くするかは

づれの負擔を輕く **外し、前期後期い** 

加入者の自由であ

張總理招待實業團體が

新

**強金を早く受取る** 更するたけで、保 将来の保験料を變

ノ内日本工業供験部に流洲國々坊の世界は共同主催の下に十二日丸の工食職所並に日前収量協会の二 [東京電話] 日本而工介鑑所申 員一行の職態年勤命令

保

70

保險金を受取る時 方法があります。

期は退くなるが、

保険料排込の負擔

を輕くする方法が

ありせす。

津浦兩線間の土匪化殘敵討伐

解今 千二日田

ずである

險

超信技師 平尾 福祉 杉本

現

五 保険料の排込を中

は元通りで排済的 止して、保険金額

府選信技手 山口

17

方法もあります。 身保險に變更する

(前工省届出海)

海事出级所是 将进级所是 第出级所是 第十二 宿技手 村上退之助

る

◆竹水正一氏

(治等法院回 が40 新任後 物のため十二

◇宮本元氏 (本府法務局 長)同上,宮眞

伊大使次官訪問

猛然総攻撃を開始す の歌劇地歌哀に伴び南郷北方より「藍の第一歌」を朝来金面的に開動。に向って帰還しつ、あり狭か軍に、投か軍が安容帆及び破職附近「新定果北平版を豊く龍華郷に耳る」し黎帆れを打つて西方及び西北方

工海十二日同盟]

とに関して金融に耳り左の如くさ 患する酸を木倉里山方面に急追中 部隊は蘇州河を終えて昆山方面に 型山方面に東省東をおがせる〇〇 なり安全権を占領せる〇〇部派は

二、南郷を占領せるOC市場は京 温線路北側地區より太倉方面に念 向つて前進中

の魔を恵定及其の西方地區に向つ より文〇〇部は陳家行方面に敗迎 手力を以て南市西方並に原北地區 は一部を以て南市整備に當らしめ 三、南市を抽跡せる〇〇部隊は

語定に、又〇〇部隊は吳宗揚方面し

四、〇〇部版は羅店方面より感む

高原一郎(問)問高木崎繋(庇(兵崩縣)同守殿保夫(岡山縣)

り別な城市石地域を結てなどの 小林部隊戰死者

て告示即日施行される

特例を設けたもので四鮮防空委員會令と共に來る十七日官報を以第二十條町村組合等に關する規定等に更に朝鮮の特殊事情により

北京にて風間本社特派員十二日發】紫電

指令により、我軍の後方機戰に必要な行動をつぐして歌を糾合し京漢、津浦南線の中間地帯に彷徨し中央政府の歌を糾合し京漢、津浦南線の中間地帯に彷徨し中央政府のるに至つた、即名激微:智の改築は三九軍の縁を中心に産地の土 り殘敵の大討伐を決行しこよに河北の天地は明朗化するに至ったが、意よ河北全省の粛正丁作に乗出し十一日よ軍は全者問めと贈し河北の天地森保し、全薬地に常々治至在を整へ

**と思郷なる機能行動に用で、大線にも京徽浩線にまで漁用するに至り、腕類兵の支那軍の大勝利」などといふ意方もない担急宣劇に飛ぜられ、最近に至っては建** わたが、彼時は南京中央放送前上り連日各地に放送される『日本年の敗退、

り十一日各地一齊に蕭正工作を決行、我○○機○台は食民に異へる影響は考しからざるものがあり、我和は歌字これを彫刻するととな 態が強化されつ。ある。 権安も確立されるに至った。かくて北京、天津を中心に織大河北南部地方の 域を加へ、これ策乗地を設したので今首市北省は発育を設定と職立しの合計一萬餘に上る土匪化しつ」ある發敵に徹底的興 和附近に於て約三千、舊魏縣大名附近に於て四、五千そ 共に、陸上部隊は晋縣、辛集附近に於て二千、平郷、南 石家非東方地區産城一帯の土匪軍根墩地を爆撃すると

酒南を空爆 飛行塲兵營爆破、市中混亂

(OOT:)目回忆 我が健康を定ちけて居らず、また歌歌歌方言の蛇の視聴なる山虎の住職、歌僧に見するわれを選集されて見初の皆らに願うとれた。一日中半郎除た、歌歌独古人に願すした派歌を見した派歌を見た、かく て抗日南京政府の指令管での他の軍事教堂を使してきた過失した。その常め阿雅行権は実践を起した派歌を見た、かく て抗日南京政府の指令管での他の軍事教堂を表して「同世の者」と、その常め阿雅行権は関係来教たる歌歌を美した、かく て抗日南京政府の指令をいる。 あいこれを連載が続いませい。 一日中半郎除た 歌歌独古のに東下し近職長等時近を結定中の職事用和軍を察見し、変ちにこれを連載が続いる。 利大使は十二日午前九時五十分[東京龍店] アウリッチ駐目伊 遂げて同十一時四十七分離

當事國間の處理こそ 公正なる解決に達す

東亞の和平確立に多大の關心

**入便に뮄合を職しベルギー攻府に隊達せし日ベルギー大使の寒訪を示め、同格文を手見なれば、団格文を手に収点乾詰」漢田外祖は十二日午後四時、** 

外務省十二日午後五時發表回答文

学児セしめるに足らざる企造態とする、食職者加騰機は今天事業 『威政府はブラッセル倉簿に関する十一月七日附口上書を受領 は十月二十七月附回符及に無明中に明示したるその見解方 傾重た考慮に出づるものたるを詠とするも、不幸にして登場 り。帝國政府は右口上書に開陳せられたる管議会部諸國の見 十和的解決に関し帝國代表と九ケ國務約の範疇内に、且つ問題 統列圏においても組上の見解を集と説解せられ、現状の非底に即て水種の風速解決を肌抜すべきは帝國の献めざる方針なり の脳に関しては帯域層次の素明に明かなる道り、 職業行為により親を蒙り、且つ今世界は試験的行為に平利國政職なり、會職委加國にして東京に概念を有する總での國は、月下の

機が各員の安全に對する影響と受催しなる旨情報せられた所に 種の関摘なる縁ばにより、東東の和平確立に多大の間心を有する

川高ある前を労明せられたり、徐らところ帝國政府は今末を "検約の経際外なるを以て同様段適用的頭を開始するの検地な」にいます。 一動に支那側の挑脱に銃機なくせられたる自衛行動にして、 即指に海嫌して許見交換を行ふため、少数國の代表を以下

いてこれを選組せんとする時は、彼らに両國民心を明心し、却つ常なる病体に選手のことを得べく、今天守護の組織い物情内にないを発を有する最高部國際に対いて素地することにより思う公正、安保を有する最高部國際に対いて素地することにより思う公正、安 **類は果恵の特殊作態に基くものなるが故し。直接切賞なる利宝側** 

> 近の平貨制便は「青に廃止するこ に永小歴相とり今国時間に輩み官より南文化文の版記報告あり、更

上のうち駐縄大使コンスタンチ

ある▲總督府にも採抜するほり ▲ついては引法大師のお告げ

感ぐのでその吸かない

型館 こいを水泥し入いで炒山吸用 | 交触方面より入手した様素として

門を述べ涼辨を水め、異論なく各 議の一定回政府平山間に関しては

P通信融モスコー支局に十一日外 日新なる機能者を出してゐるがA

製造に行きる 製造に行きる

お孔分九年

那内の影輪工作は依然止まず、連

【ニユーヨーク十一日同盟】 辞録

上作やまず 蘇聯の清掃

九一層田外相より九ケ関係約國會

「東京電話】十二日の定例組織は

回説で賛成 官吏賀狀廢止

ての男がつかつかとせつ

中間の方で高楽に歴

関係の存頭取が地

の活風波工場説祭の

ては北部の急調長です、

原題局の課長時分が目

私は時間に感じ近

三、三七五、五〇九 三四四、二八〇

七粒方の分の米較現在高左の加本年十一月一日現在岩手脈外十十月一日現在岩手脈外十 米穀現在高 第二次發表

保護をしめた。

して東亞の安定に需要せられる所あれば帝國政府の批評とする所 領棋上りた あって小川総渉機構の報告あり、 れに對し資量被相。有思想相。大谷 地域山の不祥事項優に鑑る嫡山書 と、その他に随して報告あり、こ

れに對して馬場内相より最近各

ペーウの手で連伸されたと係へら ニレニュア氏及此上大使ミハエル に開闢を命じたと輝へてゐる、以

即と無ついな様さん!「利つと決策に機関係しくなった」を 明日飛行機で太刀洗に立つ・

京城支社

京城府黃金町二丁

Ħ

1年11日南南政府の郭応受館」様でる所なり、舞さ今大の世

壯烈、決死の敵前上陸

(金山海川

受職の計量、中京市大量等市場技術・ら校出の計量、中国の計量、中京市大量等市場技術・

学を少く同十一種一大概書

**付糸退鮮** 単星として 朝鮮用泉の 客であったらなことだ 一之に對して間要を入れる中ないま」と間見を オーうつかり人の選を に行む命へいと派く世神 ので見りのお客さん 開催常務が「男で幸ひ

8

粱粱 M 覹

悬

本 日

京

東

出班へをしないことになってゐる 邑面當局はこれに従って、總てが

調ではあった。心させられる

あたのには光生の苦心のほども感

間僻地にまで普及徹底してゐる。 る、第一に感心したことは、

以來僅か一ト月を出でないのに山

して出産、金谷豊場に來た頃はト 一々批野を加へ、興味を持ち

化するため、本府警務局では全鮮

特輯號

ついて見聞したことを少し紹介す 今回の応行中に皇國軍民の番詞に 母歌の下に行はねばならねところ 「領と心得て、甚全の方策を明 そ、我等が感謝料恩の生活の

雲崗の石佛(其二)大同に着いて江西県

然り我等の型型感謝の生活は、 

に現しれ、それに置する時間整備 一體の緊張そのもの、反映と 光楽と、幸福と、感謝の上

張り

切る江原道

既死者の遺族の上に、何又、

又避死傷者の上に、更に

南總督視察隨件記

特派員 大野

彌

ってるないのに、備か七ツ中人リ









劑新擦塗·

隐属温息 意 **选择** 人。 碳酸在溴酚治明城是 三世人三水器

出烈護國の 鬼となつ わが戦友の奮戦記 ・林部隊 (名譽の戦傷者) 馬塲大尉手記

於て貧部隊に在りて城間に参加す 宮 (南苑南方四杯) 附近の戦闘に 附近に在りて防禦の態勢に在りき方約寸析)に、有力な一部を行宮 省時蔵は其の主力を南苑 (北京南 後山藤市上等兵

主義的であり、我利々々主義的で

の傾はあるけれども、我等が

落するを言ふのである しか

それだけでは、始りにも個人

に孤まれ、一家眷族相和し、

へがある。人間として生れ、 歌館の生活といふことを高麗

恩感謝

わばならぬ。 息国 臣民 たるの光

れぞ我等の生活の原動力で

北支戦線スケツ

チ

18

眞

道

黎

か。我等の日常の生活は、

一個同胞が一體一心となっ

民として生れ出たることとう。

政高地を中心とする相常堅固な 行宮 附近を占領せる敵は

光、磁師の監測到除正認の聲並連中に在りて克く命に能い深葉の都 語等各種の圧掛に服し克く分隊の 部隊の突撃準備は稍々困難を加

指揮の下に下適上等兵機山岳の掌 こと、なるや上等共は小木谷少尉 明

近半に振動性を持ちたる主へ共揚

敵は共の害を産業(北

数の不良地形の錯鐘と相俟ちて我 に復刑百一十餘度と標せられ数日 情別にして無風、質

加へたり、上等兵(常時一等兵)は「概念四十二間、合せて八百回を争が攻撃威力の接種に多大の支腕を「金三百五十三間七十四銭と職員の が攻撃威力の破却に多大の支障を 四百四回廿六歳に卒業生有志の畝

1同から二四五十一銭、開坡大和れた、また学北官川青年町線所生 て得た七回の皇軍動問金も寄託さ 去る六日の愛國日に続脚工を買つ

江原道原州農民事校の職員生徒がめて来た境章の銀紙三四、五配や

く敵の理雨を潜りて勇猛果敢に

約四軒)附近の腹脳に於て鷺部

と思はせた下思談も、棋、撤去に池組、絶好の好取組、分は朝鮮方

調子出ず、遠に彼の好評となつた

際件にむかへたこの試合に、攻防・

に燃ゆ

龗 可憐な勤勞献

中に活を求めての一郷一打、住て

かし、堂々と打ち勝つて光淵の め心情いまでの決心のプレ

間であった。嵯峨伊藤組を破った 登放ケ年、昭和人年京城日報全籍 と表だ見ざる意味なプレーを連 事の如く、わらニッオレーは響き い上げえ切つて、ロップを追へば である。洪、李組造決勝に示 無類の快調は流々げえてあれ 後の試合を短へ、出意以来初めて した組が選ばれたか疑問に思

黒尚の療

他數種の薬劑によりヒスターの素が、カブサイチン其で使用する不使あるに鑑み、カブサイチン其を使用する不使あるにない。

**」者の指導** 

農振委員會で協議

校||回運網機器・全國無期 三對一、朝鮮軍便時、

來、今年まで連模力で年、全國的

山林明保事物の組織階級に経べ 日本行政の進行に遺憾なからしむ

のため<br />
変形が<br />
では十一日附を以て

**鄭人、100瓦** 

製造元(味の

素本舖直系)

實製藥

株式會社

振荷東京六五〇七七番京橋・瓊町・味の落ビル

元0年 元0年

各藥店二

アリ直接製造元へ



接触多期

圖基格計画七億壹金本資 

別 作 院 醫 野 宗 蜘婦 内人 科科

前領自山の無力を耐いて、連合・自郷を待つた。棚板共に一気に攻のアップを板に進はせる飛ば、成一めるの気がらつい。根板共に一気に攻いませんが、指検的に出て航手のいた。 れない。この日刊谷は、味力のコーためか、打球に成力なく、概も亦

(部 山底) 十一(指示生(朝) 富らればならぬ苦臭にありながら

學校教練教師を招致

制では、これ等単映映画数冊を指してあるが、今回本府単書 上、軍凶者年として憲成に遺憾な 講習會を開催 色、面その他必要なる官者に配布 し塵談費その他必要な場所に掲示 し、民衆の時局認識の便に供し大

六名及び顧良若守名がある 同龢には技師一名、「賦一名、技手

工學問題で別別、我與問題、韓國 批判座談會

技術員打合會 市街地計畫の

平府では各浜技術員を配置し、こ における地祇物に滑加を強想し、

指導の適正を期してみ

保官に各世市工奨勵第三、在戦民前改良、販売職扱に就いて本府開

夕刊後の市況

蓝

本府商工跳では在城業者その他別

見本市打合會

係者を十三m午前十時から南工奏

燦・不滅の大記録 る、常日は那砂報告の受見、戦争 ふこととなった を聞いて乗ぜしめることなく、味サーブも無理をせず、闘手の島所 ふべきテニスを見せてくれた。古

五年連覇を完成する迄(三)

雅度日 た、必勝の意気は眩に全氧を抱握を作 年の解釈は不易のものとなってる 現京府、連城三好、李ら散水る蔵 を全部の対かではつて無路東京

大鎌科ホールで取行する 朝鮮出生点球線盟主催の第十六日 山林課新設

**企**預普的

補場の概率も選手も様々ちとなり 狭勝戦の封手愛知の原理を属正

帰盟殿は十三日(個人版) 十四日

易化を叫ばれてゐたのを委員會に「殿山漁村に換ける行事の叛民」と「繊維なため、殿施民からこれが前「任命の件、時局に関し實施したる」

るもので、一般から注目されてる 終するかに就いて方針が樹立され

府第二會議室に於て開催されるこ 死る十七日午後 l 時三十分から本

於いて更生計畫の年限を通了する一計強性の構式励易化と、更生計畫

者も出來たので、これを如何に指「質行年限前了の部落及恩恩家に對」はまった、渺谷は丹哉に球を拠さ

する指摘方針に就いて協議を行ふ

入機の高全を関することに**認** ねばなられるなほど、戦場

変きわばなられ。 更に我等は



電食和と手ともます。 大學により創案せられ、吾 國に於ても大阪帝大醫學部 教授醫學博士岩永仁雄氏、 東京市大醫學部物療內科醫 學博士森本茂喜氏、能本醫 學博士森本茂喜氏、能本醫 學博士森本茂喜氏、能本醫 學博士森本茂喜氏、能本醫 學科大學教授醫學博士和 科大學和 科 科

軍國調も高かに









可受いお孃さんの 『藝習ひ』の問題

は、家庭の人が子供さんを、思

疑問の二二角成

記義

飯塚脚一

響が荒れませんか



小見の百タン



の 上市込 部間名

カン、ムシ、チヱ熱の時 のませて下さい こう云ふ時に! れのます、夜泣きる時

るへ怯にさ寒 を供小い弱 て育に夫丈

(園は前回ロー四小さの単画 先島四段

最

日的

Ħ.

虓

弱

兒

童

ク

健

康

法

の焼き方 上手な魚

冬風邪を引かぬ注意

特に女見は足を冷さぬ

また、プロースは、なるべ

是非難行言せます ・ 正面でも精積ですから、発に澄、単枝の四、五年年町になれば、 ・ 正面でも精積ですから、発に澄、単枝の四、五年年町になれば、

から心配ありませる。膨胀な子供しじゃらに少しづ

衣服と食もの

一般に薄着をさせ

靴下は厚めに一

一家の中に居る時に滞消に

社會資合屋樋 家本 ### ##

で詣

麗地 加い 和 快 初心 V V 鮮儿 效 作 觸 な 香港池 成

L 珠。 0

石鹼 と認て 真實に良い 人人 cy. た

有 7 たから

〇ミシワ石絵を

でなくもう一歩進んで

から

良質の石鹼で生活を清潔化しませう 洗顔に、お化粧に、お調理前に、

食前に、

回的度

家家•阿鼠 〇九 凡 尽 趣 爲

#### ある、この順者を如何に関節して行くか?素泉にとつて再機時の時が禁水したのだ。水虚を増加に関した臓ががないでもないが今年位この不均断を明白にさらが出したととは稀でれたは原粉と槐と焼はの不均断、敗行に原因してみることは明らかである、微米像りに織いがないでもないが今年位この不均断を明白にさらが出したことは稀でたれば原粉と槐と焼とかである、さてて土魃に戦労年総への有戦である、この四、五日米寒戦が出来ずに廃敗したので派中に滑 並に業界人はこの問題を全世即何に解決すべきかについて大きな示唆に蓬膺し蘇く真

開城の露店

一百戸も奪はれては

わが村の破産

併合を前に咸南の兩面が

お互ひ夫々の主張

『海の物』相手の荒仕事だけに 割り切れぬこの悩み

> 際近立を開節員し最も交通量が多 は部の明化をセットーとして

日子前一時から午後一時まで外

清州十一日、赤州飛遊支所

關係者等四十餘名在沿き所內在悉 提出格及、公路者、宗政宗、蔣明

大田人の尊絜振りに構製し、特徴
 「日本の行風いた施設」であった
 「日本の子型について供談した
 「中央」
 <

をおへずぞくく、流逝十工場設備

心主義から地方分散主義に移行

とする気配を入せてある、

別派金の結果により近く唯肥鉄道の出張検査の状況を報告せしむる。からんことを携して那等地主連

犯罪迄忽ち激減

部とも非常に成就を挙げて金組の「五誌には忠康食前先づ一帯を刈り」月十日までに自然近を製造すべしか力の入れ方であつた關係上、各「かんがら」を鳴らして職員事先(しい、今進製経営毎班々で「九台を期継して優廉戦も出さらと云(千倍度、武繁地と題も見朝)で愛せられた薫明書か世にも彩らを記載して優廉戦も出さらと云(千倍度、武繁地と題も見朝)で愛せられた薫明書か世にも彩ら

に際し夕剣また必ず一帯の草を冲 作権異動類に考慮することあるべー日の教館で如何に変れても路毛 製造せざるものは、情觀と認め小

主田代平吉氏(\*,)は今回所持の双。

【成興】長津江木電は第四郷王事

慶北の四無盡合同

古稀翁の赤誠

長津江水電

配來機制でもない不識などのこと 第分職得し一来である、他つて

朝夕必ず一荷宛刈り

草の根も掘り盡す

(からって教設防御殿を相談し十二五十四周金額諸込の株式會配北鮮一大月) 高帝雄代掛後では生徒戦 工場所有地一萬坪を買收し撃手会 日午後一時から同校運動場で積、製鋼所を設立、直ちに製蔵所の建

勤勞所得百萬圓を突破し

校長の訓示和原水原院隆敞長

行ふ嫌定である、後編員的百名、

聖上今月末を以て本社を京城に移

で日並〇〇起乃至〇〇融のクロー線を作日〇〇配店理するとによつ 総製元山その他 盤油 指数都 量の居

来る計日成興仕立ての庭時列車で

入前出航に帯貨の撤出をなしるるの趣勢は強く所を知らず戦闘する

がなほ船肢不足のため関地から押

京城に移駐することに決定した

助協力を求め正午戦等した 第六日七川

十二日府内における行政は次の連 【仁川】敬老愛幼、魍疫脊通日の 【忠州】去る九日午後一時から邑

忠州で開く

職能職帯の上に全部守継続で時間食護室で山路忠北道事族職員と金

とこれ亦ちかく「温」と一部です

水原高農に

平川部川内里の小野田セメント「南水電の建設に主力を保護する必「成果」関西電視線網所は今回成「を経すのみとなり観察は、東川江

職民に五千五百周で落札。 城津港〇貿易

電画 韓属那では十日の恵己

野部と繋め午後一時から時点認識 市內各官公養、工場、食此の

竣工式專行

担国臣民機様を実施した人跡教

島田園地で銀行することとなった

北路はこの和見帯に整備皮り、府 郡を組み伏せ、傍にあった小石で大なる祭二家兼武路及び松島鞭光 つて大格閣となり、強力な岐ば形 では十四日正午これが終工式を松一頭第七號打、数ケ所に記憶を負は 【仁川】府繁漁展に管奥すること一する中心人は突然開刑事に飛び掛

「時半頃建て手配中の協権的科三 【大郎】大郎署安刑事は十日午前 | つた中央交番所以と協力してやつ 刑事は散々な手傷

| |開河中を騰見、これを取押へ入と||更に左手を依頼した

一般を取り押へたが、安飛神に頂

修设を利用し墨桜用椒から新桔枝 純真な普校生 勇士家族戲問

等を採集して原召勇士の家庭に選

職に當の山南面側では

6既に運動を開始したらしいとの

水原圏に音画を落へ続結万を水原圏に音画となったが出げる

ては村の破正だ、それより早晩

熊耳面十ヶ里、豊山面の六ヶ里

北鮮製鋓所設立

戚南文川郡下に用地を買收

**坐春から操業開始** 

三〇、保険金人三、四丘四、五 してある。 馬老收納所落成

この程義工したのです。一日同所で、対すでに私止めの権災を話し好職 【永回】報恩郡馬老墳古改納所は一時から公倉堂で開催されたか定

十月中の城北湖の貿易は

▲石湖數弘氏(留州殿的福笠所世) やシネマと 溶削

ハリバで豫防の對策は今から…… 一日量 | 小兒……二 1 4 年 三 ヶ月 7 大人一ヶ月分) 百覧 十円五十銭 数据にあり



201回に至り府内有志を招待して一前十1時、午後1時及び同二時

開城の国民精神作用担川の最

水量浦 建製物に十一日公

の生徒職員は午前八時から徳田

○完造の客職は、本市に於ては各様・受味だしめ者素養職等により毎回・弾はした位で、しから怠慢の者乗ると、自動思報者素機関によつく地路、面職員を接職員して各種が犯害と無いのに挟安の定義に革がたいと て自動思報者素機関によって地路の時でも、原間期間十日間載・古木橋員をして進路修開の時でも、

は趙郡守自ら哨頭に起ち、先づ各 旧からと云つた感であるが、優勝

は都内の草を刈りつくして飲を以

遊に突破し各種家反當り三日八官

個としても百英面を超える数等所 那下 總武五千百二十九萬一三千餘 黄、中類世として一貫一級の肥効

道當局の斡旋つひに成功し

具體的折衝を開始

く目鼻の

はり一戸留り平均も三十六百十二

鴨江の湖水化は

警備陣の革命

結氷ごもなれば飛行場に轉身

樹立するとになったが差徴り第一 すること必至である、その他に

近代化される國境

永同】郡内各面の定例和幽日は

終って各計門の意見對立し暗礁に

長、重役の選任、株式の射質でを

水原、公憩實行、公共奉止日

各地の行事

日邑內各學校、官公署會社

であつたが観査配設立に登り、社一彩世別では国民物語作業週間質施 「大郎」摩北雄内朝郎、大郎、金一十一時から午後三時宝で邑内赤井 り 表・論項の四無違ぎ配合同につい 歌島と次司歌語で無料飯郎歌を と まもを幕の世のなたり事形と 一行4 金融行測問と定め一級に元費を省金機に七日から二十五日までを貯 貯金期行週間 [18] 

おおおおいます。
 は、一般のでは、自身のは、自身のは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身のでは、自身ので

川からの移住

刑事と挌闘

强力な賊にやられ

長猫の時局講演

服部氏緯演會 石川

新する、一般婦人を放び来職を有型 立直し方』と型する通信省場正版

活改善、反省校心目の九日午前十 白楊會パザー盛況

せ引かぬやう

呼吸器

自衞力 の今か

を强化されるやう らADを補給し の弱い人は向寒期

吉田光州法院長 惜まれて京城へ 内各地を始め近く内地まで有

力は今から培ふのが肝要です。 は結核に築かれるなど……多の抵抗は結核に築かれるなど……多の抵抗ないが始まりで、肺炎になり或とはかぜが始まりで、肺炎になり或りわけ、日ごろから呼吸器の弱い人

「かぜ引かぬこと」に始まります。と 向寒期に於ける保健の第一課は……

にとが必要ですが、特にADを充分補りも栄養を充實し、紫外線を充分に許びりも栄養を充實し、紫外線を充分に許びいまれば、何よ

衛力を强める

呼吸器を丈夫に

紫外線が不足する 乏から日酸青ちの厳菜のやうに病弱者はの紫外線が海いため、ヴィタミンDの飲むな外の

ADを濃厚に含有 冬の保健剤としているのは一粒肝油ハリバです。 気味が用されるのは一粒肝油ハリバです。 気味が用されるのは一粒肝油ハリバです。 気味が用されるのは一粒肝油ハリバです。 気味がある Aと紫 ADを濃厚に含有 適量で濃縮されてあります。

臭くなく胃臓に除らす染々と服用が出来ます。 が多くて、服みにくい油を糖短したものですが いれ在来の解肝油の数十分の一の微量で足 いすべは在来の解肝油の動を観したものですが を表する。 いってはない。 いっては、すぐにあの臭くて量

この冬はかぜ引かぬやう、親力が衰へぬ

■山行 (OFF)||計画を十十

A STATE OF THE PARTY OF THE PAR

に用用機代理店目鮮福選株式合社 に用用機代理店目鮮福選株式合社 天 河 日本海東 東 南 丸

福州田東 : 地名 國際運輸支房 十一月五 日 國際運輸支房 九里市 國際運輸支房

到する自衞力を強化することが大切です 給して皮膚や粘膜の防壁を强め、病菌にあことが必要ですが、特にADを充分補

元山田城 八班店 朝鮮運送支店 西湖水田村 代理 写 宮 田 府會 五十一月七 日 旅球田华 代理店 北 鲜 商船组 十一月六 日

健康者も元氣を喪ひがちてす

ヴィタミンDの触 かけては、太陽

官人

殊に秋から冬に

近海洋市地址廣告 嶋谷汽船株式會址

肌になります!

見違へる程美しい若

をお使ひ下さい!

クラブ美身クリーム

です! 今大評判の

ホルモンが絶對必要

小皴や皴を防ぐには

# で頭が若く美しくなる!



肌の内部に豊富な榮養を異へ、同時にホルモンで細胞事から起るのですから…。従つて皮膚障害を除くには皺や小皺や肌アレなどは皮膚の内部に榮養が缺乏する笑しい若肌をお望みになるのは無理です。なぜなら、皮膚の表面にだけしか作用しない普通のクリーム類で 組織から輩固にしなければなりません。それには……

#### 皮膚の構造に御注意!

な岩返り発微ラリームがクラブ美身クリームなのです。

普通のクリー

ムとどこがちがふ?

は、ホルモンの分泌が減少するにつれて新陳代謝が衰へるため その結果表皮が縮んでくるからです。オヤーいつの間に!こ、 に、真皮の部分に榮養が行き届かなくなつて細胞組織が奏縮し 三点皮(血管のある所)に分れてゐるでせう。酸が出來るの 先へ次の皮膚断面圖を御覧下さい!二つの部分・たい。 考へれば科學的な現象ですから、これに對してはホルモン栄養 なりません。 分を神給して皮膚の内部組織から科學的に改造してかゝらねば **御自分でも知らない中にできる数や目尻や口元のしわも、よく** 

#### ホルモンとは何か?

うすらいで行くのです。しかし飾ら配飾無用1.科學の力で若が致へるにつれて、皺が表面に出て美しいお面の"鰤"も実第に変響をぎつており、それが三十……四十……"ニルルモンの分泌 返る事が出来るやうになりました 健康にする最も重要なポルモンの作用です。 たが、ないでは、ないのでは、全身をいったが、ないでは、一般のでは、全身をはなったでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、 ます。目には見いなくこも、皮膚の内側ではもう小数が待機の 理的にこの邪胞ホルモンの分泌が減少してき 所が二十歳をすぎる頃から身體の内部では生 になるのは、主己して卵胞ホルモンー 若さの原動力です。女性が女性らしい美しさい。 門でホルモンごは? それは全く女性の美さ

故

CI八セン・三五セン・四五セン・

八五センン

## 綜合ホルモンは皮膚から吸収される!

題があって、その一つ一つよりも、一定の別合に綜合したもの 體前薬ホルモン甲狀腺ホルモン、植物性調合ホルモンを配合し ンを主成分こし、更に女性の美ご若さに深い関係をもつ臓下動合ホルモンこそ優秀なものであります。前に述べた卵胞ホルモ それはホルモンを補給する事です。元來ホルモンには多くの種 に効力の扱いホルモンです。しかも終るべき事は、この綜合ホ を補給するのが理想的です。その點に粧品に配合されてゐる絵 (左圍表参照) 所で皆様! この綜合ホルモンを配合した優秀

綜合ホル モンは皮膚から吸收される!

内服・徐布・法射(各一日二回五〇単位宛十二日間)に佐 つて質敵せる幼苔ラマテ(版の一種)の子宮設育面量比較長



これこをホルモンクリームの最高標準品だご、美容の大家や皮とは関手的がリームをお試し下さい。綜合ホルモンを撮皮に配合薬用薬男クリームをお試し下さい。綜合ホルモンを撮皮に配合薬用薬男クリームをお試し下さい。綜合ホルモンを撮皮に配合薬用薬男クリームの最高機能がある。

腐利の情殿が推奨されてゐます。 こ可屈の

#### まるで白百合の花びちのヤラだ……さ入江たか子さり肌が美しいので葬判ですが、祐石はカラブ美男カリリの熱心なファンだけあつて… 411

第用グラブ映身グリーム 一円五〇ナン 売合ホルモン張皮配合 のフラブ映身グリーム 一円五〇ナン 鎌倉オルモン張度配合

### 

聚木 養り E 0 ム合

十歳以上の御婦人

ぜひ御讀み下さい…

皇陛下の御前に 吾等は莞爾として此の空

蘇聯の現狀を衝く

**西名翁の獻金** 

軍愛國部でも感激

忌明金を献金 京城庁

白衣勇士を慰問

【天津にて宮田特派員 問題生の上〇〇に騒響する事に

八達を慰める



またも照風丸に

面和野資協 圏 選に 拜

一天下 一下 瓶品 

E # 30 + 9

社会式場 ユキンイ資荷 6本

す)電本二二九六 黄金ブペート ・ 第八十八回より ・ 第八十八回より ・ 第八十八回より ・ 第八十八回より

特別窜贝

女・中・北京の方は地人女中一名・希望の方は地人女中一名・希望の方は

東田東はリー丁4横ヶ丘人は 原出東はリー丁4横ヶ丘人は 原出東大田人 東京市丁二十二 画 東京市丁二日二七 画 東京市丁二日二七 画 東京市丁二日二七 画 東京市丁二日二七 画

全國の支見店にあり)



はい

**建** 畸及见曾各题名



無 本 吉田森門九 別様一手附置 京城県近二丁目 県場間(本本二七九七省)

本局2000大個

婦人病院

· 未祭町二丁目八七番町

慶遇十

作者は

算縣別、世際

女中へ用内地人に限

に用り特に受損にて帰勤する。

樂 浪 パーラ東城府長谷川町一〇五

※ 言回 無人

和十二年十一月 農林省米 闘局ハ十一月八十一月八十一月十七日 申込ノ受付同月十七日 中込ノ受付同月

京等社 城海元明本 京等社 城海元明本 149

間では第一人日本型海林式會社工名義書換了停止可致候、工年拾成月中日コリ定時株主總會総工年拾成月中日コリ定時株主總會総工名義書換停止公告

新賀屋で和田醫院 花柳病専門(1888)

八、本節等八一頭ノ行鞭行セス

平一、一五二枚外一點 以鄉外那近(信局)

中文帝也之間, 東京帝北京經濟州原在臺町之丁目十 八分二八一位在一生 東京北京經濟州原在臺町之丁目十 東京帝北京經濟州原在臺町之丁目十 東京帝北京經濟州原在臺町之丁目十

本盛 製 東所 中島 17 日本 18 日本

剛途のために祈禱祭

h k

ĭ は

ろ

n ×

まル

すが

社會式株蔥製系森

٠ ح \* ばラ



朝鮮民衆の時局認識

南

[89]

星軍慰問のシ

日本國民への

十二日 (七) 中部大陸五五分 ニニース 年和大陸五五分 ニニース 同七時一分(東)基礎英語講座 年前六時五五分 ニエース

本高信仰。遮欝宗(四)本高信仰。遮欝宗(四)

あすのきいもの

\*レヴユー (八·吾0]

の内鉢一體の根本領跡が、加度に 派説の養蒔と、日献併合の典護だ たからじえん

電話馬長 18119

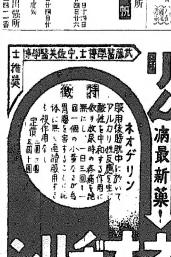
絹糸製

京城、東町二丁目 其他定網釣道具 四間 四個 五間 其他定網釣道具

五参

備為會

A



目下皿町本府城京 元查發鮮朝 **聚都房巢村木社會式株** 

1、支那事變と日本赤十字

島連天桑b河林龍雄

**减最新**藥

10 M



十一月二十日(群山、

**扁國大學 医男** 

光 一一日 大型日 日報南浦 日登山 日



Car Wang

支店 京城府**國路** 電話光化門 長(3)1580 - 1338番